

人間万事塞翁が馬

「先ずやってみる、やってダメならよしやあいいい」

「大 口 高校卒業後、憧れの東京に出て6年、転勤先の

吉祥寺で落語に遭遇しました。老若男女を爆笑の渦に巻き込む春風亭柳昇のその巧みな高座に衝撃を受けた私は、その後通い詰め、遂に半年後に決死の覚悟で弟子入りを志願しました。意外にも師匠は直ぐに許してくれました。ただし、親の承諾のみが必須条件。書簡で親父にその旨を告白し「承諾書」を依頼すると、受理した師匠から『青天の霹靂と書かれてたよ』と聞かされました。家業の跡継ぎのために、商船大学への進学を断念せざるを得なかった父は、『お前は好きな道信じて挑め！ただし、人様に笑われる様なことだけはするな！(笑)』と私の夢を支えてくれました」。

噺家の春風亭柳之助こと荒木大作さんは、大口高校でキャプテンを務めたラグーマン。日本大学ではラグビーの聖地・秩父宮ラ

グビー場でプレイした経験があります。「もともと柔道部だったのですが、ラグビー部の怖い上級生から無理矢理引っ張られたんです。最初は練習についていくだけで必死でした」と苦笑い。それでも「私が初めて決めたトライ(得点)で逆転勝利したとき、鬼の様に怖かった先輩たちがえびす顔で讃えてくれたんです。それからというものの「花園出場」を夢み、強くなりたて一心で、練習後も真っ暗なグラウンドを独りで走りまわった。私はすっかりラグビーの虜になっっていたんですね」と高校時代を振り返ります。

11月26日の大口高校100周年記念式典で講演を行った柳之助さん。「人生、何が禍か福か判らないものです。私自身は、当初は地獄だったラグビーに育まれ、その縁が東京での進学・就職、そして噺家人門へとつながり、人生を拓いていきました。やらずに後悔す

るくらいなら、思い切って挑んで後悔する方がまだマシじゃないですか？。亡き師匠の訓「先ずやってみる、やってダメならよしやあいいい」は、薩摩の故事「泣こよかひっ翔べ」に通じます。失敗したって何度でもやり直せばいいんです。自分のやりたいことに、勇気を持って挑んでみよう！」と後輩たちに熱いエールを送りました。

春風亭 柳之助さん
(56歳)

「ふるさと寄席でみなさまにお会いできることを楽しみにしております」。

あっぱれ! Vol.33
伊佐盛
イサモリ

祝 おめでとうございます

瑞宝双光章



時任 良倫さん(前伊佐市副市長)

県農山漁村女性活動功労者表彰



井之上 清子さん

笑顔の退任式



森和範教育長が任期満了で退任されました。森教育長は12年9か月間、伊佐市の教育行政にご尽力されました。

退任式で森教育長は「一人の子どもを粗末にすると、その町の教育は光を失う」ということを肝に銘じて、これからも伊佐の子どもたちのために頑張ってください」と挨拶し、笑顔で菱刈庁舎を後にしました。

辞令交付



春田浩志氏が教育長に就任しました。春田教育長は鹿児島市教委保健体育課長や伊敷台小学校長などを歴任されました。任期は令和7年12月11日まで。



永野治氏が市教育委員会委員に再任されました。任期は令和8年12月11日まで。

ちゅら海に癒されて



伊佐市出身で沖縄在住の自然写真家・高松飛鳥さんが、ご自身が出版したカレンダー376冊を市に寄贈されました。

いただいたカレンダーは、市内小中学校などに配付いたします。



岩元努氏が監査委員に任命されました。任期は令和6年11月29日まで。

100年の歴史を刻む



大口高校100周年記念式典が開催され、在校生や卒業生ら約250人が参加して母校の節目を祝いました。

式典では春風亭柳之助さんの記念講演が行われ、厳かな会場が一転して笑いに包まれました。

また、校門前では校歌碑の除幕式も行われ、歴史ある学校の発展を願いました。

校歌をロックにアレンジ！



伊佐市公式YouTubeにて、大口高校100周年記念動画「青春ロック」を公開しています。

コロナ禍の学校生活を過ごした3年生が、卒業式を抜け出して向かった先は一。

郷土の文豪・海音寺潮五郎作詞、古関裕而作曲の大口高校校歌を、√3 (OBバンド) がアレンジ。高校生の弾ける青春と、伝統の校歌の調和をぜひお楽しみください。



イルミネーション情報

伊佐にヒカリプロジェクト



大口ふれあいセンタースクエア広場で、伊佐にヒカリプロジェクトが開催されました。会場では、ヒップホップダンスやハンドベル演奏などが行われ、みんなで一足早いクリスマスを楽しみました。点灯式では、一斉に輝くイルミネーションに、会場から大きな歓声が上がりました。

期間：2月25日まで

きらめき夢ロード in 下名



下名集落在住の個人の方が自宅など自身所有の建造物等を装飾したものです。約11年前に地域を明るくしたいと、イルミネーションの設置を始めました。

期間：1月9日まで

曾木の滝公園

50万球以上の電球で彩られています。雪だるまやサンタクロースなど、かわいいオブジェもたくさん飾られており、幻想的な空間を楽しめます。

期間：2月15日まで





バスケ、楽しいな！



伊佐市総合体育館で「ENEOS バスケ トボールクリニック」が開催され、ENEOS サンフラワーズのOG選手が伊佐の子どもたちにシュートやディフェンスの基礎的な動きを指導しました。

ISA STAR RUSHの竹山征吾さんは「国内トップチームの選手にご指導いただきありがたい。競技をとおして、学校の垣根を越えた交流ができてよかったです」と話しました。

大先輩から技術を学ぶ（表紙）



伊佐市営球場でトヨタ自動車硬式野球部による野球教室が開催され、伊佐市内の小学生チームに所属する約50人が参加しました。

講師を務めたのは、大口中学校出身で、プロ野球DeNAベイスターズやソフトバンクホークスでキャッチャーとして活躍した細山田武史さんを含む4選手。

憧れの大先輩から指導を受けた日当瀬怜さんは「送球やキャッチングのコツなど、すごくわかりやすかった。たくさん練習したいです」と目を輝かせていました。

ふれあい駅伝競走大会



第13回伊佐市ふれあい駅伝競走大会が開催されました。菱刈農村公園から伊佐市陸上競技場までの10区間18.8kmのコースを各校区代表選手120人が競いました。結果は次のとおりです。

クラス優勝	
Aクラス	大口東A
Bクラス	湯之尾A
Cクラス	田中B

躍進賞	菱刈
4分32秒短縮	

各チーム成績			
優勝	大口東A	1時間	1分00秒
2位	田中A	1時間	2分23秒
3位	湯之尾A	1時間	4分12秒
4位	山野	1時間	4分27秒
5位	羽月	1時間	6分43秒
6位	大口中央	1時間	7分17秒
7位	菱刈	1時間	7分52秒
8位	田中B	1時間	10分41秒
9位	大口東B	1時間	12分12秒
10位	湯之尾B	1時間	12分44秒
11位	忠元	1時間	12分49秒
12位	針持	1時間	16分09秒

区間賞（敬称略）	
1区	中島 蓮太（忠元）
2区	羽田 悠馬（山野）
3区	松木 祐二（大口東A） 区間新
4区	坂下 葵（大口東A）
	石川 咲来（湯之尾A）
5区	中條 幸大（大口東A）
6区	石川 琉斐（湯之尾A）
7区	中島 陸斗（大口東A） 区間新
8区	西屋敷 怜那（大口中央）
9区	矢嶋 秀明（大口東A）
10区	伊地知 拓郎（田中A）

ISA ファームレディ交流会



伊佐市女性農業経営士の会主催で、「市農政課と語る会&伊佐米の魅力再発見」が開催されました。農業従事者の約半数を占める女性農業者のさらなる経営参画促進や、次代を担う後継者育成に役立てるもので、語る会では市の農業政策や女性農業者の役割等について意見交換しました。伊佐米の魅力再発見と題した玄米・胚芽米などの食べ比べの際は、生産者自ら調理加工したおかずがずらりと並び、和やかな雰囲気の中、世代を超え多様な視点で経験談が語られ、女性農業者同士有意義な交流が図られました。

天文学者に聞いてみよう！



国立天文台の辻本拓司さんが、南永小学校で「ふれあい天文学」の授業を行いました。辻本さんは宇宙の壮大さや惑星の成り立ちについて説明し、神秘的な宇宙の魅力を伝えました。

4年生の南太陽さんは「人間が宇宙で生まれて、宇宙に帰るという話に驚きました。星空観察しながら、今日の授業を思い出したいです」と笑顔でした。

アイデアで地域活性化に協力



伊佐農林高校生活情報科3年生が、地域活性化につながる商品開発を行っています。

11月24日に開かれたアイデア発表会では、伊佐米の米粉を使ったスポンジと更生之素クリームをあわせたスイーツを提案。新富大生堂の新富哲郎さんは「どんな人にとってほしいか、どうやって商品を知ってもらうかを考えることが大切」と、生徒たちに実践的なアドバイスをおくりました。

今後、コラボ商品の開発を進めていくそうです。

人権を考える市民のつどい



伊佐市文化会館において3年ぶりに「人権を考える市民のつどい」を開催しました。

オープニングで菱刈人権文化センターの受講生による正調小牟田流五つ太鼓演奏のあと、牛尾小5年の西虹々音さんが県の優秀賞を受賞した人権作文を朗読。人権問題講演会では旧大口市出身でハンセン病違憲国家賠償訴訟全国原告団協議会事務局長の豎山勲さんによる講演があり、国の誤った政策によって強制収容された元ハンセン病患者の悲惨な生活環境や実態、亡くなって遺骨になっても故郷に帰れない事実など、報道では知ることのできない「真実」が語られ、参加者は熱心に聴き入っていました。